

館の運営方針	佐倉市立公民館活動計画を基本として、地域の魅力、歴史、伝承文化等の特性を生かしながら、地域課題や住民のニーズに即した学習機会を提供し、元気の出るまちづくりにつながる生涯学習を実施するとともに、心豊かで活力に満ちた人づくりと、地域づくりの推進に努めます。
ジャンルの目標	
地域の自然や伝承される生活文化などの学習を通して、地域に関する理解と愛着を深めると共に地域住民の交流と健康増進を図る。また、他地区の住民に対して弥富地区を紹介する。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	ふるさと弥富散策会	自然散策やどんど焼き体験を通して、地区に対する理解と愛着を深める。
②	グラウンドゴルフ	児童から高齢者まで幅広い層が一緒にプレーできるグラウンドゴルフを通して健康増進と異世代間の交流を図る。
③	竹炭づくり体験	弥富地区の自然を活かした竹炭づくりの技法を体験することにより、地域への理解を深めると共に生き甲斐探しの第一歩としたい。
④	健康づくり講座「楽しく養生体操」	日常生活に必要な基礎体力を維持するための運動方法を学ぶことにより健康増進を図る
⑤	佐倉学入門講座「弥富で楽しむ野鳥の話」	身近に見られる野鳥について学び、弥富の良さを再発見するとともに自然保護への意識を高める。
⑥	佐倉学体験講座「くらしの講座」	弥富地区で継承されてきた生活文化を次代に伝えると共に世代を越えた交流を図り地域に対する郷土愛を育む。また、地域人材の活用・育成を図る。
⑦	佐倉・城下町400年記念事業 佐倉学専門講座「塩古ざるづくり」	弥富周辺地域(塩古郷)に昔から伝わるざる作りの技法を次世代に継承するため、材料作りから編み上げまでの技法を学ぶ。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	ジャンル目標に沿った事業実施が出来た。今後も弥富地区の特性を活かした事業を展開していく。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ()

総合評価	
B 事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。	成果 弥富地域に残る風習や伝統行事・文化・自然などについて学習し、郷土愛を深めることが出来た。また、グラウンドゴルフ大会や健康づくり講座「楽しく養生体操」などを実施し、地域住民の交流と健康増進を図った。
	課題 高齢化がさらに進むことから、健康寿命を長く保つための健康講座や高齢者の集いなどの場となるような事業の展開が必要である。また、若い世代の参加が得られるような事業内容の検討も必要である。

★公民館運営審議委員意見

委員①	若い人が興味関心を持つ内容や参加の方法を模索する必要がある。
総合評価	B

委員②		若い世代(子育て世代)に家で子どもと一緒に作れるアイシングクッキー作りや、祭り寿司作り等、興味ある内容ですごく良いと思います。(参加したいと思う企画です。)
総合評価	A	

委員③		「くらしの講座」 2回のバス研修は地域住民の親睦と交流の場として有意義だと思います。その他の6回講座も興味関心の持てる内容であり、初級編・指導者養成編等、今後の地域人材の活用・育成に繋がるので、今後も計画的に取り組んで継続してください。
総合評価	A	

委員④		ほぼ年間を通じてプログラムされている講座であり、住民交流や地域文化、食育など実に多彩である。そば打ち体験からは、弥富そば打ち友の会が発足したと聞く。活動の確かな検証であり、公民館活動での今後の活躍、連携も楽しみである。 「課題」の中に、「若い世代の参加が必要である」との認識が示されているが、「アイシングクッキーづくり」として、若い世代にもアピールする事業が組み込まれるなど、問題意識を事業に結びつける作業も確実に行われている。結果として、初めて公民館講座に参加したという方が多いということにつながっている。歴史や自然といった地区の財産に拘らない事業を検討することも必要なのだと思う。ただ、このアイシングクッキーづくり事業の講師も地区住民であり、そこに事業の拘りを感じる。講師探しは大変だろうと思うが、事業内容によっては地元講師に拘って欲しいと思う。大いに評価したい。 太巻き祭り寿司づくり事業でも、過去の受講生が講師となるなど、公民館活動の好循環が見られる。地域人材づくりにも公民館活動は大きな役割を果たすものであり、今後とも地域活性化に向けた人材づくりをも視野に入れた事業展開に期待している。
総合評価	A	

委員⑤		「アイシングクッキーづくり」は若い世代の参加者が興味を持ちそうな企画で今後の公民館活動にも良い影響が出るのではと思いました。
総合評価	A	

委員⑥		佐倉学体験講座「くらしの講座」に各種の8講座を実施しているが、何よりも地域住民の良い交流の機会となったことが良い結果と考えられます。今後も講座のPRに努め充実しさを継続されることを期待します。
総合評価	A	

委員⑦		新規事業へのチャレンジは評価したい。そこに弥富ならではの魅力が加味されることを望む。人気のバス研修は、「交流」という目的は達成されているので、さらにその研修で得たことを「地域に還元」できるような働きかけがあったらいいと思う。
総合評価	A	

委員⑧		総合評価 A	「くらしの講座」は、参加者を増やす意味から若い人が参加しやすいような事業内容もあり、また小学校や幼稚園の家庭学級の若い母親たちとの共催を図るなど、工夫がみられます。 バス研修は人気があるようで、参加者の絆を強める一面にもなっていると思います。続けていただきたい。
総合評価			

委員⑨		総合評価 A	地区の特色が伝わりの確な発表だった。 若い世代の参加が多く望めない課題があるが継続して取り組んで頂きたい。
総合評価			

委員⑩		総合評価 A	カリキュラムに新しいものを加えたり、運営方法を広げてみたり・見られた工夫は大事なことだと思う。もの作りを通してねらいが果たせたのは良かった。
総合評価			

委員⑪		総合評価 A	事業を継続実施して行く上でも世代を超えた若い世代、特に中高生の参加が欠かせません。バス研修旅行で、筑波のJAXAや農業・食品産業技研等の見学を企画しても良いと思う。
総合評価			

委員⑫		総合評価 B	若い世代や、新規の参加を促すために「アイシングクッキーづくり」を加えて、成果のあった事業だと思います。ただ、「交流」の機会となつてはいると思いますが、参加者数のうち、半数以上がバス研修で、他の講義の参加者数との落差が非常に大きいようです。講座内容について、過去の受講生に要望等を聞いて開設されたいかがでしょうか。(すでに聞いているかもしれませんが)
総合評価			

委員⑬		総合評価 A	バラエティーに富んだ講座を地域の特色をいかしながら発表できたと思います。
総合評価			